



平成29年 5月26日

各 位

上場会社名 北川工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 北川 清登
(コード番号：6896 名証第二部)
問合せ先 取締役管理部長 長谷川 壽一
(TEL 0587-34-3011)

(訂正)「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成29年5月15日に開示いたしました「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所は____(下線)を付して表示しております。
なお、数値データについての訂正はありません。

記

【訂正箇所】

2 ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

【訂正内容】

《訂正前》

① 当期の経営成績

(中略)

このような経済情勢の下で、当社グループは既存の電機市場に加え、自動車ビジネスをはじめとした、新たな柱となる事業基盤の整備強化に注力してまいりました。しかしながら、円高に伴う外貨建て売上高の円換算額減少などにより、当社グループの当連結累計期間の売上高は105億4千万円(前年同期比1.9%減)となりました。一方、利益につきましては、利益率の高い製品の売上が伸びたことや、原価低減・経費削減に注力したことなどにより、営業利益は7億7千7百万円(前年同期比137.0%増)、経常利益は9億9千3百万円(前年同期比53.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億7千5百万円(前年同期比52.3%増)と、それぞれ増益となりました。

《訂正後》

① 当期の経営成績

(中略)

このような経済情勢の下で、当社グループは既存の電機市場に加え、自動車ビジネスをはじめとした、新たな柱となる事業基盤の整備強化に注力してまいりました。しかしながら、円高に伴う外貨建て売上高の円換算額減少などにより、当社グループの当連結会計年度の売上高は105億4千万円(前期比1.9%減)となりました。一方、利益につきましては、利益率の高い製品の売上が伸びたことや、原価低減・経費削減に注力したことなどにより、営業利益は7億7千7百万円(前期比137.0%増)、経常利益は9億9千3百万円(前期比53.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億7千5百万円(前期比52.3%増)と、それぞれ増益となりました。

以 上